

2013年10月7日

廈門訪問記

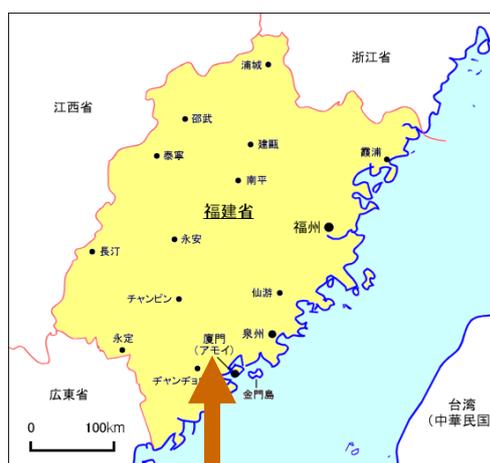
林海軍先生（廈門理工學院教員、群馬大学・小林研で博士号取得）に招待され、2013年9月21日-25日の間、廈門（アモイ、中国福建省）を訪問した。当地では大歓迎を受け 廈門理工學院、廈門大学、集積回路センター、市内を案内してもらった。

林先生は中国の大学を卒業後、日本でエレクトロニクスを学びたいと、群馬大学工学部電気電子工学科に学部1年生から入学し修士課程・博士課程に進み、合計9年間群馬大学に、私の研究室には学部4年から合計6年間在籍した。日本での民間企業の勤務経験後、2年前から廈門理工學院に勤務している。

福建省、廈門市



福建省



廈門(あもい、Xiamen)

福建省はお茶が著名である。

山が迫り平地が少なかったため、東南アジアの華僑(の祖先)は福建省出身者が多いとのこと。

明朝末期に 廈門の豪族 鄭成功が台湾に移り住む。このため民族的、ローカルな言語(閩南語(ミンナンゴ))、文化的に共通なので、廈門と台湾とは密接な関係を保っている。台湾企業の経営者は廈門大学で教育を受けた人が多いとのこと。廈門理工學院でも台湾の大学と協定を締結し数十名の規模で留学させているとのことである。快晴の日には海岸から台湾が見え、廈門と台湾の高雄の間に毎日定期便の航空機が飛んでいる。

廈門市は実質人口400万人程度。LED、太陽光発電関係の大きな産業が集積している。

電機、不動産関係の産業が栄えている。中国の工業地帯では上海、北京・天津、深圳、遼寧省。。。20番目程度に位置している。廈門は緑豊かな地であるとの印象をもった。

廈門理工學院

廈門理工學院は福建省立大学。廈門市の地元出身が多く、地元企業に就職する割合が高いため、廈門市から大きな支援を得ている。全寮制、約2万人の学生。





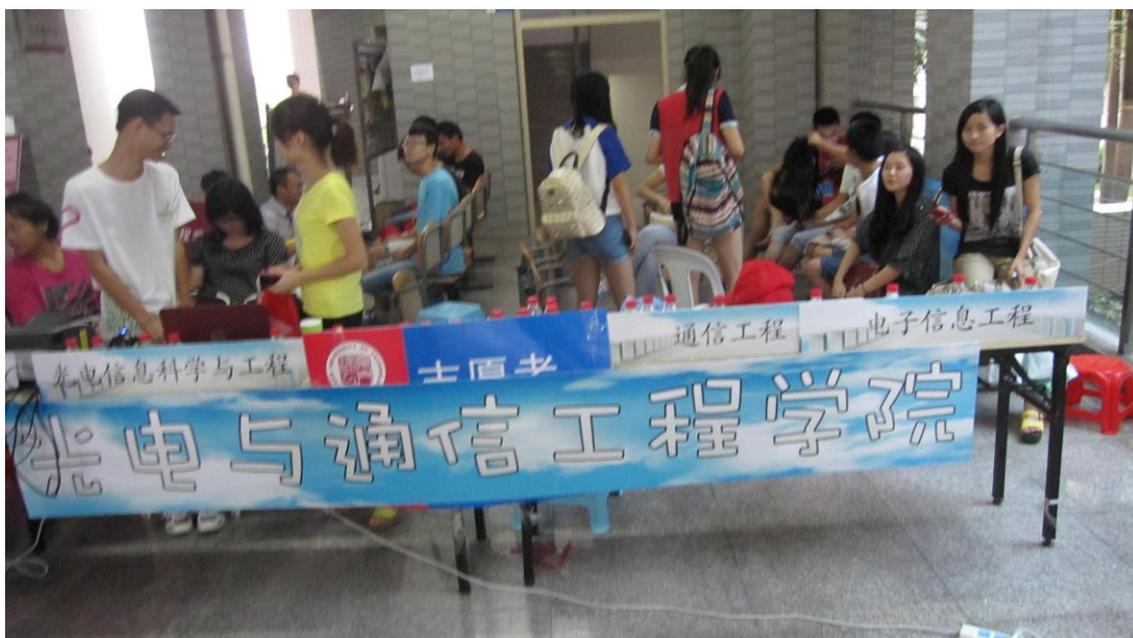


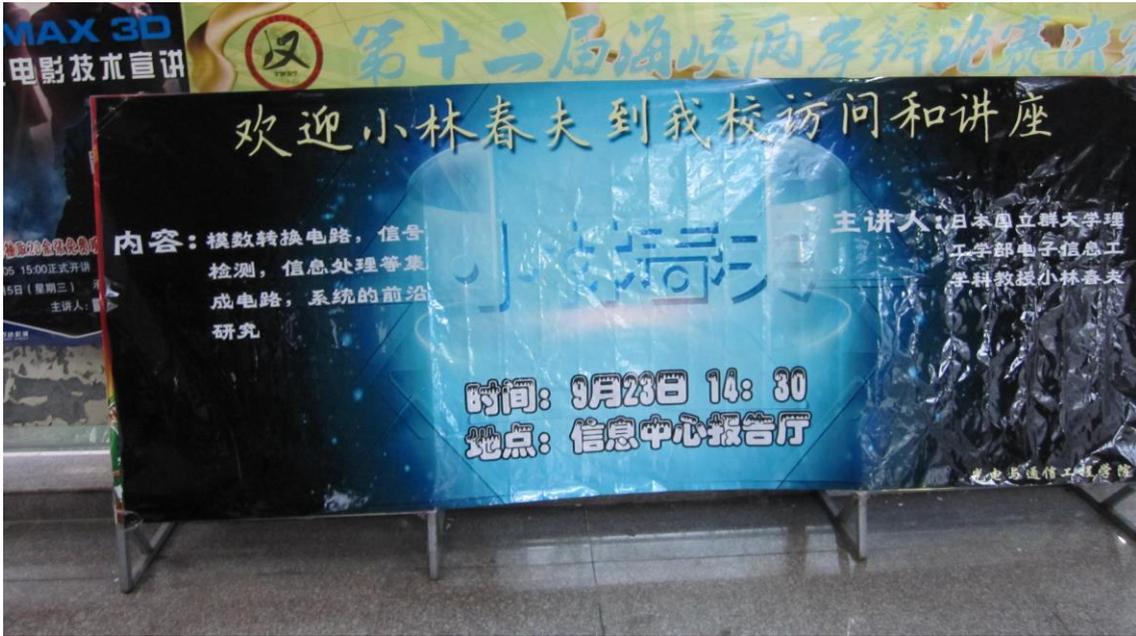
廈門理工學院は美しいキャンパスで知られている。

廈門理工學院では学生に対し産業界で即戦力の教育をしている。
下記の写真は同大学でのフライト・アテンダント養成教育の設備。



訪問当日は廈門理工学院の新入生ガイダンスが行われていた。
若いエネルギーで活気に溢れていた。





廈門理工學院で講演をさせていただき、客座教授を授与された。





聘书

兹聘任 小林春夫 为厦门理工学院
客座教授，聘期三年。

厦门理工学院

校 长

二〇一三年九月十七日

陈文北

海外の大学で博士号取得に関心のある廈門理工学院の若手教員との懇談会。



廈門大学

中国の名門総合大学、経済学が強い。三つのキャンパスをもつ。学生43,000人。

1921年、福建省出身の華僑リーダーである実業家 陳嘉庚が創設。魯迅も教鞭をとる。

集積回路分野は現在立ち上げ中。(Prof. Li XiaoChao) 米国企業との共同研究室あり。

講演をさせてもらい、Prof. Li, 研究者と懇談し、研究室見学をさせてもらう。



廈門大学出身の著名な数学者の記念碑前で。(右 林海軍先生)





廈門市のソフトパーク地区の廈門集積回路センター(XMICC)を見学させてもらう。
また、同地区のLSI設計会社訪問をし技術討論を行う。
ベンチャー企業の創設は国から補助金があり、初期投資が少なくてよいシステムになっている。

福建省立大学 集美大学

「集美」はこの地区の地名。同大学内のホテルに宿泊した。





華僑大学

国立大学。海外の華僑の子弟の中国語教育のためのコース等がある。



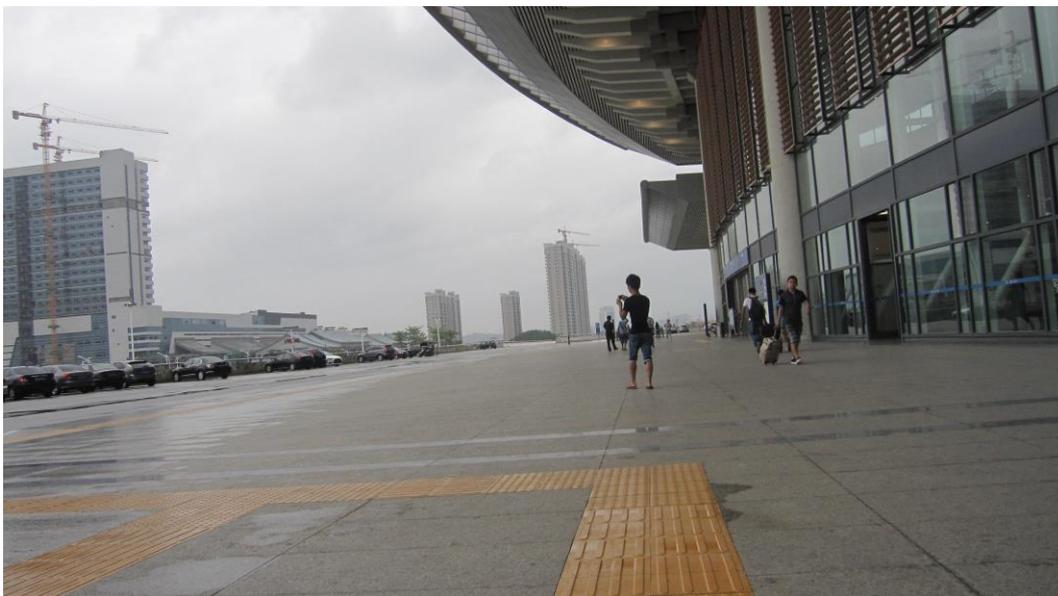
廈門観光

ショッピングモール

中国での大学進学率は3-4割程度になってきており、
物価は日本の感覚に近くなってきている印象である。



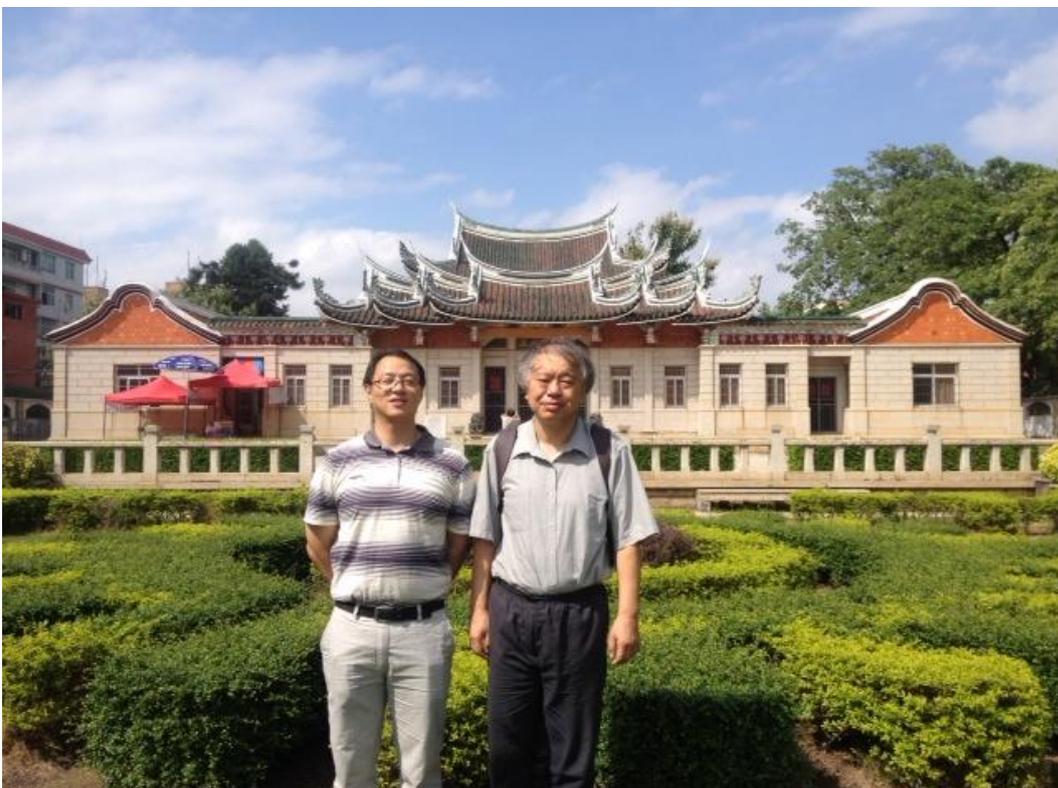
郊外の新幹線の駅



陳嘉庚記念公園

福建省出身の華僑リーダー 陳嘉庚氏はマレーシアにてゴムで大成功。

廈門市集美地区に小学校から大学院まで作る。廈門大学、集美大学(前身)も陳氏が創設。



左 林海軍先生

廈門市内の寺院









林海軍先生の群馬大学学生時代の新聞掲載

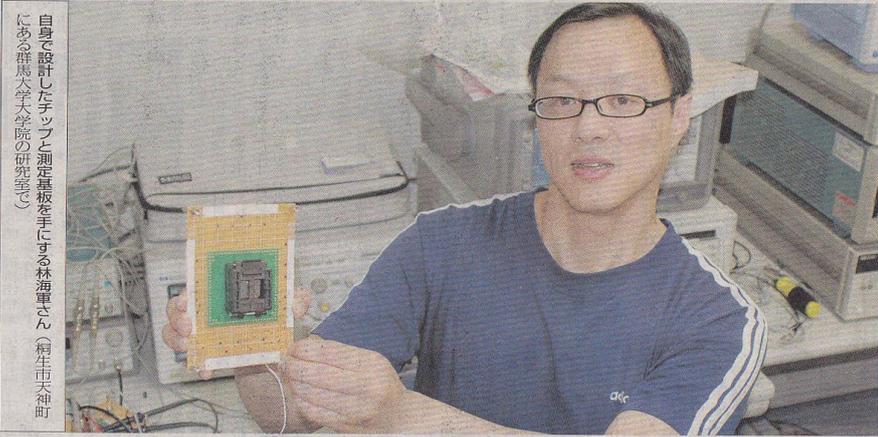
（昭和21年2月8日第三種郵便物認可） 夕刊 桐生タイムス 2009年（平成21年）9月24日 木曜日 特集 (12)

26

夢を追いかけて

りんかいくん 林海軍さん(32)

アナログ技術 根性の開発



「研究は根性だ。根性があれば前に進める」。群馬大学大学院工学研究科でアナログ集積回路を研究する中国人留学生、精神面の強さが大事だとする指導教授の教えを忠実に実践し、研究成果を上げてきた。いまきの日本の若者には敬遠されかねない「根性」という言葉だが、来日してから大学院に入るまでの苦勞を乗り越えられたのは、まさにこの気持ちがあったから。博士後期課程を修了する来年春は、電子通研究所への就職が決まり、「社会に役立つ研究をしたい」と意欲を燃やす。

中国の大学では生物化学を専攻した。就職した商社で輸入機器の仕事に携わるうち、「電気電子の勉強がしたい」と思うようになり、とうとう半導体技術の進んだ日本へと1998年に来日した。

夢を抱いて空港に降り立ったものの、話せる日本語はいささか程度。群馬県内に在住していた親類を頼って生活を始め、まずは前橋市内の日本語学校へ通った。生活を支えるためのアルバイトや受験勉強もあり、睡眠時間は時間割らない。「負けてはいられない。逃げたら勝たなくなってしまう」。精神的にいつの時期だったか、アルバイト先での上司と同僚の優しさは心に染み込んだ。「感謝の気持ちを生涯、忘れたくない」。

2000年春、群馬大学工学部に合格。困難に負けずに頑張れたことは大きな収穫だった。あのときのことを考えれば乗り越えられない

留学の苦勞を乗り越え自信

「研究は根性だ。根性があれば前に進める」。群馬大学大学院工学研究科でアナログ集積回路を研究する中国人留学生、精神面の強さが大事だとする指導教授の教えを忠実に実践し、研究成果を上げてきた。いまきの日本の若者には敬遠されかねない「根性」という言葉だが、来日してから大学院に入るまでの苦勞を乗り越えられたのは、まさにこの気持ちがあったから。博士後期課程を修了する来年春は、電子通研究所への就職が決まり、「社会に役立つ研究をしたい」と意欲を燃やす。

中国の大学では生物化学を専攻した。就職した商社で輸入機器の仕事に携わるうち、「電気電子の勉強がしたい」と思うようになり、とうとう半導体技術の進んだ日本へと1998年に来日した。

夢を抱いて空港に降り立ったものの、話せる日本語はいささか程度。群馬県内に在住していた親類を頼って生活を始め、まずは前橋市内の日本語学校へ通った。生活を支えるためのアルバイトや受験勉強もあり、睡眠時間は時間割らない。「負けてはいられない。逃げたら勝たなくなってしまう」。精神的にいつの時期だったか、アルバイト先での上司と同僚の優しさは心に染み込んだ。「感謝の気持ちを生涯、忘れたくない」。

2000年春、群馬大学工学部に合格。困難に負けずに頑張れたことは大きな収穫だった。あのときのことを考えれば乗り越えられない

「研究は根性だ。根性があれば前に進める」。群馬大学大学院工学研究科でアナログ集積回路を研究する中国人留学生、精神面の強さが大事だとする指導教授の教えを忠実に実践し、研究成果を上げてきた。いまきの日本の若者には敬遠されかねない「根性」という言葉だが、来日してから大学院に入るまでの苦勞を乗り越えられたのは、まさにこの気持ちがあったから。博士後期課程を修了する来年春は、電子通研究所への就職が決まり、「社会に役立つ研究をしたい」と意欲を燃やす。

中国の大学では生物化学を専攻した。就職した商社で輸入機器の仕事に携わるうち、「電気電子の勉強がしたい」と思うようになり、とうとう半導体技術の進んだ日本へと1998年に来日した。

夢を抱いて空港に降り立ったものの、話せる日本語はいささか程度。群馬県内に在住していた親類を頼って生活を始め、まずは前橋市内の日本語学校へ通った。生活を支えるためのアルバイトや受験勉強もあり、睡眠時間は時間割らない。「負けてはいられない。逃げたら勝たなくなってしまう」。精神的にいつの時期だったか、アルバイト先での上司と同僚の優しさは心に染み込んだ。「感謝の気持ちを生涯、忘れたくない」。

2000年春、群馬大学工学部に合格。困難に負けずに頑張れたことは大きな収穫だった。あのときのことを考えれば乗り越えられない

【メモ】半導体は電気をよく通す媒体で、電気をほとんど通さない絶縁媒体と、中間の性質を持つ物質や材料のことをいう。半導体を材料に使った集積回路も、慣習的に半導体と呼ばれている。

（桐生市東三丁目在住）

作 釈 月 性 （幕末期の僧）

男児立志出郷関
 学若無成不復還
 埋骨何期墳墓地
 人間到处有青山

男児 志を立て郷関を出づ
 学もし成らずんば また還らず
 骨を埋む 何ぞ期せん墳墓の地
 人間（じんかん） 到るところ青山あり

（文責 群馬大学 小林春夫）